

立地環境の魅力で更なる企業立地を 滋賀県

多彩な魅力を持つ職住環境

滋賀県は、交通の要衝として機能し、一般機械や電気機械、電子部品・デバイス、化学工業などのモノづくり企業が数多く立地する全国屈指の内陸工業県だ。県内の工場は、敷地10ha以上及び、世界的なシェアを持つ大企業の工場が多いことも特長だ。気象庁や国土交通省のデータによると、地震や水害などの自然災害が少ない地域で、2011～2020年の過去10年間の平均年間水害被害額は、全国平均を大きく下回る。

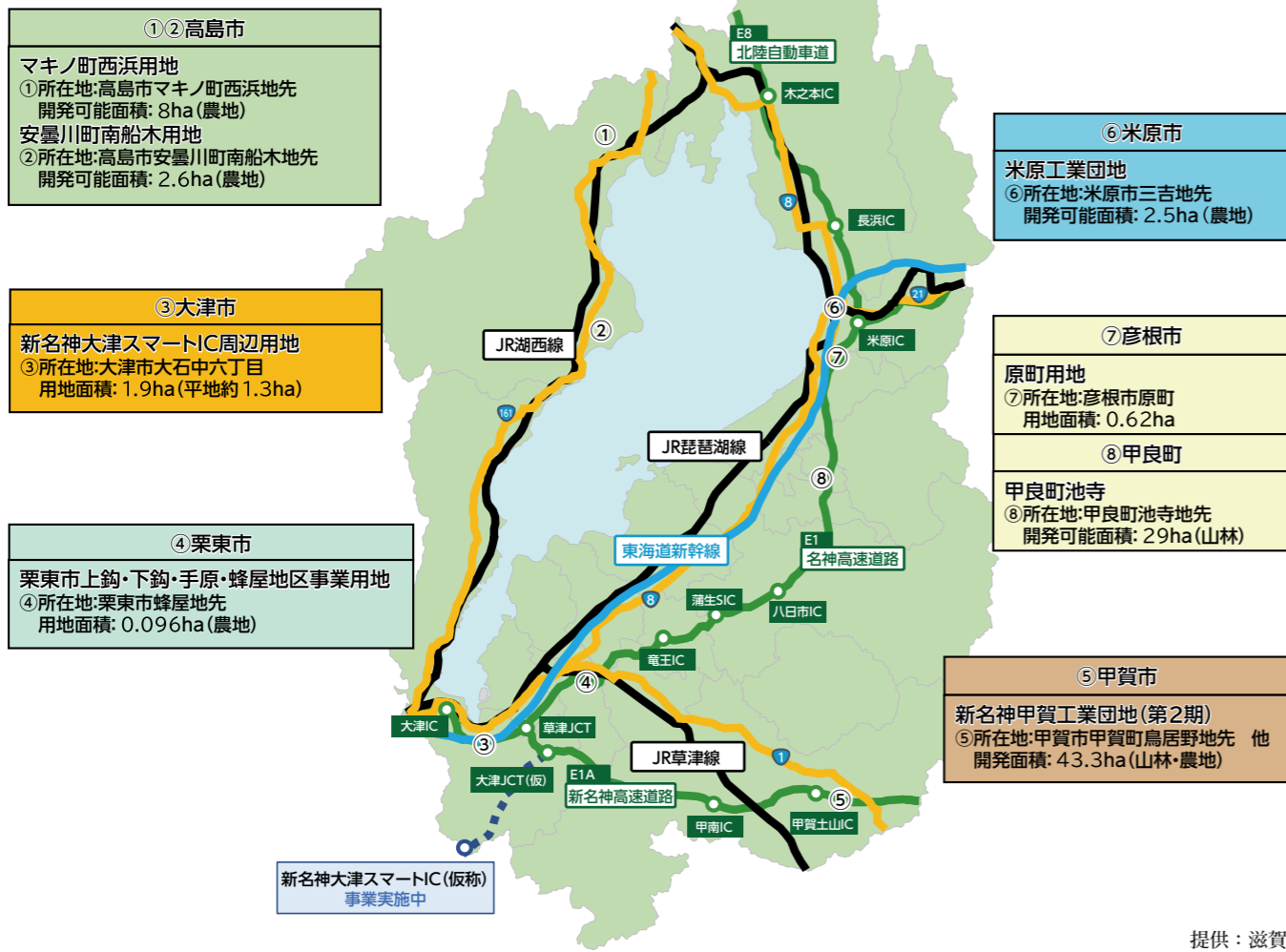
また、県域の1/6を占める琵琶湖の水環境を守る先進的な取り組みによって、環境県として全国に知られている。主要都市へのアクセスも良く、琵琶湖を中心とした自然豊かな住み心地の良さも魅力で、2024年の「住みよさラン

キング」(東洋経済新報社)ではベスト50位に県内13市のうち3市がランクインしている。教育適地として大学も多く進出しており、現在11大学2短期大学1専門職大学がある。加えて、2028年度春に高等専門学校の開校を目指しており、人材の創出にも更に注力していく。

■滋賀県のデータ

面積：4,017km²
 人口：1,401,134人(2024年9月1日現在・推計人口)
 県庁所在地：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
 TEL 077-528-3993(総合案内)
 ホームページURL：https://www.pref.shiga.lg.jp/

滋賀県内の主な事業用地 (ご紹介可能用地および計画中の用地)



規模や分野に応じた様々な支援制度

滋賀県は、設備投資を行う企業向けに分野や規模に応じた支援制度を設けている。2024年度には滋賀県が重点的に立地を推進する産業分野の設備投資を対象とした助成金を創設した。

このほか、企業立地促進補助金や地域未来投資促進法や本社機能移転促進プロジェクトを活用した税制優遇制度を設けている。

産業立地戦略推進助成金

対象	次のいずれかの分野に該当する施設の新増設 ①蓄電池 ②電子部品・半導体 ③新モビリティ ④医薬品・医療機器 ⑤バイオ ⑥情報通信業 ⑦グリーン物流 ⑧観光(宿泊施設)
要件	投資額 30億円以上 (土地および従業員のための福利厚生施設を除く、新たな施設の整備、取得が必要)
	地元常用雇用者数(純増) 新設10人以上 増設3人以上
その他	●以下の取組を実施すること ①CO ₂ 削減目標計画を有していること ②しがCO ₂ ネットゼロムーブメントへの賛同 ③しが生物多様性取組認証制度での3つ星の認証 ④「すまいる・あくしょん宣言」への登録、または「しがふぁみ」の協定締結 ⑤入札での社会政策面評価項目のうち2項目以上の取組 ●情報通信業、グリーン物流は他に個別要件あり
助成率	投下固定資産額の5% 北部地域(長浜市、米原市、高島市)、研究開発拠点を備えた工場 または研究開発拠点：投下固定資産額の10%
限度額	最大10億円 設備投資：9億円 従業員のための福利厚生施設：1億円(社宅、カフェテリア、レストルーム、授乳室等)

提供：滋賀県

米原JCTから至近 —「米原工業団地」—

「米原工業団地」は、県北部の米原市にある。名神高速道路、北陸自動車道や東海道新幹線が走り、道路輸送、鉄道輸送ともに整備され流通環境に恵まれた新たな産業発展の場として注目される。大阪から100km、京都から70km、名古屋から80km、福井から100kmの距離に位置し、関西、東海、北陸圏をつなぐ交通の要衝として国土幹線の結末点となっている。その抜群の利便性から市内及び団地内には大企業の工場が立地しており、その製造機能の一翼を担っている。

米原工業団地

所在地：米原市樋口
 用地数：1区画
 用途地域：市街化区域(工業専用地域)
 アクセス：名神高速道路米原ICまで約1km(5分)

